

① 将来像の共有と協調領域の特定

A) 一般車両による自動走行(レベル4)

- 自動走行(レベル4)は、過疎地の移動手段の確保等の社会課題の解決に貢献する可能性があり、積極的に検討すべき。
- 専用空間等でのレベル4を先行して検討(自動バレーパーキング、ラストワンマイル自動走行)するとともに、今後は、安全・安心な乗り物として社会的価値を創出できるよう、一般交通との混在も含めたレベル4について、まずは幅広い関係者が共有できる将来像の明確化に向け、海外を含め幅広い関係者の考え方を収集して検討を深める。

レベル4のイメージ

Googleカー

